

## 東武馬車道通りにおける道路空間を活用した社会実験について

### 1 事業目的

中心市街地のウォークアブルなまちづくりに向け、東武宇都宮駅と大通りの交通結節点である東武馬車道通りにおいて、居心地の良い空間づくりを行い、その効果や実現性を検証するための社会実験（BASHAMI CHI YARD）を実施する。

### 2 実施主体

宇都宮市及び宇都宮大学

### 3 実施内容（案）

#### (1) 実施エリア（別紙のとおり）

東武馬車道通りの西側北進車道の一部

#### (2) 実施期間

令和4年3月24日（木）から3月27日（日）まで

（設置・撤去期間を含め、3月23日（水）から3月28日（月）まで通行規制あり）

#### (3) 実施内容

- ・ 車道に人工芝を敷設し、気軽に立ち寄れる空間を創出
- ・ 来訪者が自由に座れるよう、木製のボックスを組み合わせたベンチを設置
- ・ 木陰を確保することにより、日中も滞在しやすい空間を創出
- ・ 車道との境目となる部分には、木製のカウンターを設置し、安全対策を徹底
- ・ 交通誘導や事業実施エリアの管理、警備のため人員を終日常駐
- ・ 来訪者や周辺店舗へのアンケートを実施

#### (4) 検証項目

東武馬車道通りの道路空間を活用し、滞在できる空間を創出することにより変化する来訪者の行動や道路空間活用に関する印象、沿道店舗の売上げなどへの影響等を確認し、「人中心」の道路空間を構築していく上での参考とする。

#### ア 効果の検証

- ・ 来訪者の行動や滞在時間
- ・ ベンチなど什器の快適性、満足度
- ・ 沿道店舗の売上げや来客等への影響

#### イ 実現性の検証

- ・ 車道への滞在に対する安心感、清潔感
- ・ 交通への影響
- ・ 沿道店舗の公共空間活用に対する参画意向 など

#### (5) 新型コロナウイルス感染症への対応

実施にあたっては、人と人との間隔を十分に設けるよう呼びかけるなど、感染防止対策の周知・徹底を図る。

※ 緊急事態措置による強い外出自粛要請などがあった場合は、中止とする。

#### 4 今後の進め方

社会実験の評価・検証結果を基に、東武馬車道通りにおける「人中心」の道路空間の構築に関する沿道店舗や来訪者等の意向等を確認するとともに、課題や改善点などを抽出し、次年度以降の取組につなげていく。

#### 5 今後のスケジュール

令和4年 3月～	広報紙、ホームページ、看板の設置などにより取組内容や交通規制の周知を実施
3月23日	準備・設営
3月24日	社会実験（～27日）
3月28日	撤去
3月下旬～	検証作業

